

日本一のまちづくり

重点的な取り組み

☆は新規事業

- 地球にやさしい日本一のまちづくり
 - 〈都市企業関係〉……………2億5,590万円
 - 石手川緑地の整備……………1億6,190万円
 - ☆(仮称)和気浜緑地の環境整備……………9,300万円
 - (仮称)土居田はなまる公園の整備……………100万円
 - 〈環境下水関係〉……………11億497万円
 - 新西グリーンセンターの整備・運営……………8億1,385万円
 - 地球温暖化対策補助……………1億7,274万円
 - 廃棄物適正処理……………2,986万円
 - ☆マイクロ水力発電施設の整備……………2,600万円
 - 家庭系ごみ減量・リサイクル……………2,532万円
 - PCB廃棄物適正処理……………1,438万円
 - 資源化物持ち去り行為防止対策……………1,424万円
 - 地球温暖化対策……………859万円

- お年寄りや障害者にやさしい日本一のまちづくり
 - 〈市民福祉関係〉……………27億999万円
 - 重度心身障害者医療助成……………19億3,573万円
 - 地域包括支援センターの運営……………2億1,322万円
 - 特定健康診査の実施……………1億4,755万円
 - ふれあいいきいきサロン……………1億438万円
 - 中島地域の医療確保……………7,450万円
 - 生活機能評価……………6,531万円
 - 後期健康診査……………5,168万円
 - 心身障害者共同作業所運営補助……………4,298万円
 - 後期・はりきゅう施術扶助……………3,378万円
 - 障害者総合相談窓口……………2,656万円
 - 特定保健指導の実施……………1,341万円
 - 障害者居住サポート……………90万円

- のびのび教育日本一のまちづくり
 - 〈総務理財関係〉……………6億4,673万円
 - 北条スポーツセンターの整備……………6億1,510万円
 - スポーティングシティまつやまの推進……………3,163万円
 - 〈文教消防関係〉……………17億7,901万円
 - 学校給食共同調理場の整備……………13億8,956万円
 - 分館の建設……………1億1,991万円
 - 放課後子どもプランの推進(放課後子ども教室の運営)……………4,195万円
 - ☆子規記念博物館の維持管理施設改修……………3,340万円
 - 学習アシスタント活用支援……………2,800万円
 - 小学校外国語活動支援……………2,556万円
 - ☆小・中学校高圧電気設備機器の改修……………2,507万円
 - 特別支援教育……………2,446万円
 - ☆「ふるさと松山学」教材の作成……………1,953万円
 - 小・中学校図書館図書整備……………1,805万円
 - いじめ対策総合推進(いのちを守る相談)……………1,443万円
 - まつやま小中学生文化体験学習……………1,052万円
 - 地域力活用学校応援……………945万円
 - 小学校の緑化推進……………804万円
 - 夢・紙芝居……………400万円
 - ☆「新聞制作体験学習」支援……………400万円
 - 未来を拓け松山こどもリーダーズ……………280万円
 - 各界先輩わくわくセミナー……………29万円
 - 〈市民福祉関係〉……………27億8,038万円
 - 幼児医療助成……………11億2,084万円
 - 母子家庭医療助成……………6億5,202万円
 - 認定こども園の設置運営……………3億9,617万円
 - 妊婦・乳児健康診査……………3億8,007万円
 - 小児救急医療支援事業補助……………1億8,100万円
 - 児童クラブ室の施設整備……………3,125万円
 - 家庭的保育モデル……………1,903万円

- 物語のある観光日本一のまちづくり
 - 〈総務理財関係〉……………2億1,555万円
 - 坂の上の雲ミュージアムの施設管理運営……………1億1,545万円
 - ことばのちからイベント……………4,237万円
 - 『坂の上の雲』を軸とした21世紀のまちづくり……………2,974万円
 - 坂の上の雲ミュージアムの企画展示……………2,800万円
 - 〈産業経済関係〉……………1億476万円
 - スペシャルドラマ『坂の上の雲』の魅力創出……………4,864万円
 - 松山旅行の商品化促進……………1,649万円
 - 街角おもてなし……………1,397万円
 - 国際観光客の誘致促進……………1,190万円
 - 修学旅行の誘致促進……………737万円

憧れ誇り日本一のまちを目指して 重点的取り組み

地球にやさしい日本一のまちづくり

石手川緑地の整備



「みんなのまつやま夢工房」での提言を基に整備が進む石手川緑地

中心市街地に水と緑の安らぎの空間を提供し市民の癒やしの場となっている石手川緑地を、市民と協働で平成18年度から整備しており、今年度は末広橋から立花橋までの左岸などを整備します。

(仮称)和気浜緑地の環境整備

市北部に位置し、伊予12景に選定された白砂青松の地として親しまれている和気浜海岸の後背地の緑地を、市民の憩いの場として、またレクリエーションの拠点として、安全で安心な公園に整備します。

中央浄化センターでマイクロ水力発電



年間約66,000キロワットアワーの発電を見込む中央浄化センター

中央浄化センターでは、循環型社会への転換を目標に下

お年寄りや障害者にやさしい日本一のまちづくり

地域包括支援センターの運営

高齢者の介護・福祉の総合相談窓口として市内10カ所に設置している地域包括支援センターの相談機能を強化し、医療機関や介護施設などと連携して、地域住民のニーズに沿った総合相談体制の充実を図ります。

ふれあいいきいきサロン

地域で生活している60歳以上の高齢者や住民ボランティアが集い、触れ合いを通して



ふれあいいきいきサロンで熱心に体操に取り組む参加者

重度心身障害者への医療助成

重度心身障害者への医療助成を継続し、医療費(自己負担分)を助成することで、重度心身障害者の生活の安定を図ります。

障害者の総合相談窓口

市社会福祉協議会に設置し

のびのび教育 日本一のまちづくり

スポーツで「ひと」「まち」を元気に

ている障害者の総合相談窓口で、身体・知的・精神障害者や障害児の生活相談支援を行うとともに、市の就労支援専門員との連携を図ることで障害者の就労を促進します。



10周年記念事業としてさまざまなイベントが開催される坊っちゃんスタジアム

開場10周年を迎える坊っちゃんスタジアムをはじめとするスポーツ競技施設の有効活用や愛媛FC、愛媛マンダリンパイレーツといった地元プロスポーツ熱の盛り上がりを促し、スポーツを切り口に市民の元気、まちの活力を創造し、

妊婦の健康診査の公費負担拡充

平成21年度に引き続き、14回の妊婦健康診査を公費負担し、母体や胎児の健康確保を図ります。

乳幼児医療の無料化

小学校就学前の乳幼児医療の保険診療について完全無料化を継続します。

教育環境の整備

児童・生徒の基礎学力の定着を図るため、授業中に地域の教職経験者や教員を目指す大学生らを学習アシスタントとして活用し、個々の児童・生徒の学習を支援します。今



きめ細やかに学習の支援を行う学習アシスタント

年度は小学校でも放課後や長期休業中に支援します。小学校での外国語活動の指導力向上を目指し、小学校教員を対象に休日などを利用して「英語スキルアップセミナー」を行うほか、推進モデル校を3校から7校に増やし、効果的な指導法や指導計画の作成などに取り組みます。松山の先人や松山ゆかりの伝統文化を小中学校の教材として冊子にまとめ、その教材の活用を通して子どもたちの「ふるさと松山」に対する誇りと愛情をはぐくみます。中学生が新聞記者の指導の下、新聞制作する体験を通して言語やコミュニケーション能力の向上を図ります。環境負荷の低減や環境教育の観点から、小学校校舎の壁面緑化や、校庭の芝生化に取り組みます。

- 観光おもてなし対策…………… 353万円
- 広域観光の連携…………… 222万円
- みかんのまちの雰囲気づくり…………… 63万円

■元気、活力日本一のまちづくり

- 〈総務理財関係〉…………… 6,669万円
- ☆松山島博覧会…………… 6,231万円
- 中心市街地の活性化対策…………… 439万円
- 〈都市企業関係〉…………… 29億4,694万円
- JR松山駅の周辺整備…………… 15億9,980万円
- 松山外環状線(幹線)の整備…………… 9億496万円
- 松山外環状線(街路)の整備…………… 3億4,478万円
- ☆優良建築物などの整備支援…………… 9,740万円
- 〈産業経済関係〉…………… 5億9,295万円
- 中小企業資金貸付金の保証…………… 2億1,620万円
- ☆ひとり親家庭などの在宅就業の支援(安心子ども基金)…………… 1億3,692万円
- ☆かんきつ農産品種転換の緊急対策…………… 5,900万円
- まつやまブランド農産物生産の支援…………… 3,553万円
- 新規産業の育成…………… 2,971万円
- ☆瀬戸の島ヒジキ加工施設の整備…………… 2,600万円
- ☆まつやま環境ビジネスの創出支援…………… 2,070万円
- 若年者正社員化の支援…………… 1,425万円
- かんきつ農業経営複合化などの推進…………… 1,204万円
- 魅力ある農産物の開発普及…………… 927万円
- 水田農業担い手の支援…………… 717万円
- 生鮮食品の安全のための取り組み(中央市場・水産市場)…………… 586万円
- 日本一のライム産地づくり…………… 506万円
- まつやま農林水産物ブランド化の推進…………… 500万円
- 中心市街地活性化の商業対策…………… 470万円
- 中小企業のステップアップ支援…………… 263万円
- 島しょ部の農業活性化…………… 182万円
- 産業立地の促進…………… 99万円
- 中小企業支援高度IT技術の習得…………… 13万円

■安全、安心日本一のまちづくり

- 〈文教消防関係〉…………… 16億6,882万円
- 第1次小・中学校校舎の緊急耐震化…………… 15億3,400万円
- ☆消防団ポンプ蔵置所の耐震化…………… 6,456万円
- 防災マップの配布…………… 3,322万円
- ☆デジタル防災行政無線の整備…………… 2,000万円
- 公民館の耐震化…………… 1,000万円
- がんばる自主防災の応援…………… 705万円
- 〈市民福祉関係〉…………… 5億2,672万円
- 麻しん・風しんの予防接種…………… 2億6,011万円
- 各種がん検診…………… 2億4,514万円
- 新型インフルエンザの対策…………… 1,089万円
- まつやま安全・安心まちづくりの啓発…………… 1,058万円
- 〈都市企業関係〉…………… 35億5,988万円
- ☆水道管路の耐震化(上水)…………… 9億8,577万円
- 市営住宅の改修…………… 8億8,519万円
- 北条上水配水管の整備(上水)…………… 5億2,140万円
- ☆水道管路管理棟の建設(上水)…………… 3億9,000万円
- 工業用水管の耐震化(工水)…………… 2億3,550万円
- 市営住宅の建替…………… 1億7,992万円
- 東中島地区の簡易水道再編推進(簡水)…………… 1億6,460万円
- 市之井手浄水場土木構造物の耐震化(上水)…………… 1億5,000万円
- ☆浄水場内の土木構造物および管理本館の耐震化(上水・工水)…………… 4,750万円
- 〈環境下水関係〉…………… 11億9,383万円
- 中須賀第2雨水排水ポンプ場の建設…………… 8億4,360万円
- 管きよの改良(下水道の地震対策緊急整備)…………… 3億4,723万円
- ☆内水ハザードマップの作成…………… 300万円
- 〈水資源対策関係〉…………… 299万円
- ☆雨水ネットワーク会議全国大会in松山の開催…………… 237万円
- 新規水源開発の準備…………… 63万円

■その他

- 〈総務理財関係〉…………… 4,898万円
- 納税推進プログラム…………… 2,348万円
- ☆北条支所庁舎の改修…………… 2,100万円
- ☆松山市総合計画の策定…………… 450万円
- 〈市民福祉関係〉…………… 3億9,147万円
- (仮称)三津浜地域交流センターの建設…………… 3億2,482万円
- 生活保護適正実施推進…………… 2,173万円
- ☆パスポートセンターの運営…………… 2,070万円
- 地域におけるまちづくり推進…………… 1,863万円
- 食育の推進…………… 559万円
- 〈都市企業関係〉…………… 7,645万円
- 市営住宅駐車場の整備…………… 7,645万円



来年2月まで開催予定の「新聞『日本』と子規」

観光振興を目的に本市ならではの地域資源を生かして、修学旅行の誘致を実施。本市を訪れた修学旅行生が松山の魅力を存分に体験し、最高の思い出づくりができるさまざまなメニューを充実させ、さらに魅力ある旅行プランを展開します。

また民間のノウハウやネットワークの活用を図りながら、松山旅行の商品化を目指しています。観光客のニーズに合



ポディー上部にことばの文字シールを張った電車

坂の上の雲ミュージアムの企画展示

坂の上の雲ミュージアムでは、年度ごとに展示物を入れ替え、来館者に小説『坂の上の雲』の魅力やメッセージを伝えます。

現在実施している第4回企画展示では「新聞『日本』と子規」をテーマに、展示物を通して、さまざまな視点から明

平成12年からスタートした「ことばのちからイベント」。本市出身の俳人・正岡子規をはじめとする先人たちが培った、本市ならではの文化的風土を生かし、「ことば」をキーワードにしたイベントの展開で、松山の魅力を全国にPRしていきます。

スペシャルドラマ「坂の上の雲」の放送を契機に、本市への観光客増加が見込まれることから、観光誘客の絶好の機会ととらえ、さらなる誘客を目指して、さまざまなイベントを開催します。

地域資源を生かした松山旅行商品などの促進

また「交流人口・産業拡大会議」と連携し、本市の観光産業や地域経済の活性化を図ります。



中島でミカンの収穫体験をした修学旅行生

元気、活力日本一のまちづくり

合わせたプランの開発のほか、内容、価格ともに魅力ある松山旅行の企画、販売を目指して、戦略的に観光客の拡大を図ります。

「しまはく」は島しょ部の魅力が満載



しまはくマスコットキャラクター「しまぼう」

「テレワーク」による在宅就労を支援

ひとり親家庭のほか、障害者や高齢者のうち在宅でしか働くことのできない人に、IT機器を利用した在宅就労業務形態「テレワーク」を促進し、雇用機会の創出・拡大を図ります。

農林水産物のブランド化を推進

本市の農林水産物の活性化などを目的に、高品質な農林水産物を選定し、「まつやま農林水産物ブランド」として認定。このブランド化を推進することにより、生産者の経営の安定に加え、さらには安全・安心な農林水産物の市民への提供を行います。また全国に誇れるブランドを目指して、



横須賀市のイベントでまつやま農林水産物ブランド「カラマンダリン」をPR

安全、安心日本一のまちづくり

県内外を問わず、引き続き全国各地で積極的にPRを行い、消費拡大を図ります。

各種がん検診・新型インフルエンザ対策

今年度から乳がん個別検診、前立腺がん地域検診を開始するとともに、身近な場所ですることができる環境の整備など、各種がん検診を充実します。

また豚由来の新型インフルエンザ対策に加え、以前から懸念されている鳥由来の新型インフルエンザの発生に備え、

災害に備えた危機管理・安定した水の供給

地盤の液状化など地震などによる被害が大きいと予想される地域の基幹管路と配水管の耐震化を図ります。

また北条地区上水道の適正な水運用や維持管理に必要な配水管路網を整備し、より安定した水の供給を行うほか、東中島地区簡易水道施設の集約により、簡易水道の効率的な運営を図り、安全で安定した水の供給を図ります。

その他の重点項目

パスポートセンターの設置

県から移譲される旅券に係る事務(申請受理および交付)を行うパスポートセンターをフジグラン松山に設置し、8月23日から業務を開始する予定です。土・日・祝日も窓口を開設することで利便性を高め、市民サービスの向上を図ります。

発に努めます。



災害に強いまちへ

近い将来発生する確率が高いと言われる南海地震など、自然災害時において市民一人一人が適切に対応できるよう、現行の防災マップを改訂するとともに、防災の最新情報や家庭における対策などを新たに掲載し、全戸に配布します。

また地域防災の要である消防団活動において、北条地区

自然と共生する 安全で快適な くらしの充実

生活環境 分野

分野

水資源の確保のため、重信川・立岩川流域などの放置された森林を整備することで、流域森林を緑のダムとして活用し、地下水の水源かん養機能の増大を図ります。



立岩川流域の森林

雨水を効率的に利用できる雨水貯留施設や節水機器の購入費などを助成し、市民や事業者が節水効果の拡大と節水意識の高揚を図ります。

節水型都市づくりと 水資源の確保

4カ所の消防団ポンプ蔵置所を移転・統合することで、北部地域の消防防災力の強化を図ります。

災害時の復旧活動や被災した市民への応急給水を迅速かつ適切に行う活動拠点として水道管路管理棟を建設します。



急患医療センター

今年度も流行が予想される新型インフルエンザの対策として、急患医療センターの医療従事者などの増員やインフ

救急医療体制の充実

健やかで安心して暮らせる 支え合い 社会の構築

健康・福祉 分野

分野

身体または知的障害者の就業拠点である心身障害者共同作業所への運営補助により、障害者の社会参加の機会や場所づくりを行います。

障害者の就労支援

高齢者の福祉の増進と「坂の上の雲」のまちづくりへの理解を深めてもらうため、高齢者を対象にバスを利用した坂の上の雲ゆかりの町並み探訪を実施します。

高齢者の福祉増進

母子家庭などの自立促進を図るため、生活支援、就労支援、養育費の確保、経済的支援などに取り組めます。

4月からの子ども手当制度の施行に伴い中学校修了前までの子どもに手当を支給し、次代の社会を担う子どもへの健やかな育ちを社会全体で応援します。

子育て家庭の支援

ルエンザ治療薬などの安定供給に努め、初期救急医療体制の充実を図ります。



(仮称) 松山南学校給食共同調理場の完成予想図

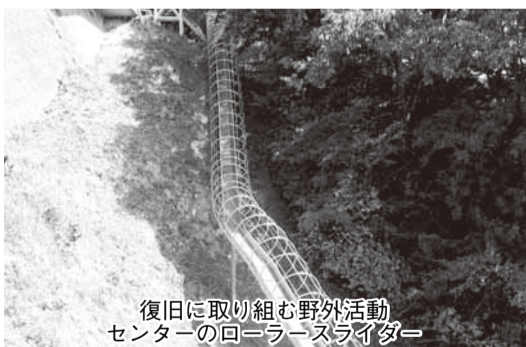
よりよい学校給食の 推進

豊かな人間性を育む教育・ 文化・スポーツ の振興

教育・文化 分野

分野

また、昨年の土砂災害により使用禁止としているローラー滑り台と崩落法面を復旧し、利用者の安全と集客を図ります。



復旧に取り組む野外活動センターのローラー滑り台

野外活動の拠点整備

松山外環状道路の整備に伴う余土共同調理場の移転を機に老朽化の著しい石井共同調理場を統合した「(仮称)松山南学校給食共同調理場」を建設し、よりよい学校給食の推進を図ります。

松山島博覧会の開催などを記念し、東京国立博物館に所蔵されて以来里帰りしたことのない忽那諸島関連の考古資料を借用展示するほか重要文化財の忽那家文書など貴重な資料を公開し、中島の歴史を再考するとともに郷土への愛着や地域文化への関心を高めます。

「忽那諸島の歴史」 の開催

児童・生徒、教職員が1日の大半を過ごす場であり災害時には地域住民の避難場所にもなる学校校舎を安心して利用できるよう改築や耐震補強などを行います。

学校施設の耐震化

地域社会で放課後の子どもたちの安全・安心な活動拠点を確保するため、地域住民の参画を得て子どもたちが勉強やスポーツ・文化活動などを行う「放課後子ども教室」をさらに3校区開設する予定です。

子どもの安全・ 安心な拠点づくり

生活環境分野

■自然と共生する安全で 快適なくらしの充実

主な事業の紹介

☆は新規事業

- 〈文教消防関係〉………1億9,929万円
 - 情報通信施設機器の保全… 2,907万円
 - 火災調査業務…………… 1,978万円
 - メディカルコントロール体制の充実…………… 1,702万円
- 〈市民福祉関係〉………1億7,992万円
 - 共同給水施設補助…………… 8,700万円
 - (仮称)松山市中島斎場の建設…………… 7,609万円
- 〈都市企業関係〉………47億4,759万円
 - 生活道路の整備……………5億6,218万円
 - 舗装補修工事……………3億1,230万円
- 〈環境下水関係〉………65億4,110万円
 - 松山衛生事務組合の負担金……………6億1,363万円
 - 新浜地区都市下水路の整備……………5億4,450万円
 - 北部浄化センターの建設……………4億9,567万円
 - 下水排水路などの整備…4億1,367万円
 - 中央浄化センターの建設…3億4,209万円
 - 浄化槽の設置整備……………2億7,633万円
 - 西部浄化センターの建設…2億5,710万円
 - 天山・朝生田地区雨水管きよの整備……………2億2,050万円
 - 浄化槽対策……………1億5,003万円
 - 西石井雨水排水ポンプ場建設……………1億1,403万円
 - ☆不法投棄・散乱ごみ監視など…………… 1,491万円
- 〈産業経済関係〉………1億6,695万円
 - ☆緑のダム緊急整備の促進… 9,119万円
 - 新たな水源かん養林…………… 5,633万円
- 〈水資源対策関係〉……… 9,606万円
 - 節水型機器購入などの促進…………… 4,452万円
 - 雨水貯留施設購入の促進… 4,005万円

健康・福祉分野

■健やかで安心して暮らせる 支え合い社会の構築

主な事業の紹介

☆は新規事業

- 〈市民福祉関係〉… 413億2,375万円
 - 生活保護の支給…………… 170億円
 - ☆子ども手当の支給(児童手当含む)……………101億832万円
 - 障害福祉サービス…………… 44億5,308万円
 - 精神障害者の自立支援…………… 4億994万円
 - 放課後児童健全育成……………3億2,840万円
 - 急患医療センターの運営……………2億1,885万円
 - 児童館などの管理運営……………2億996万円
 - すこやか介護支援……………1億8,504万円
 - 移動支援など……………1億7,200万円
 - 母子家庭などの自立支援… 6,204万円
 - ☆児童館の環境整備…………… 640万円
 - ☆地域発!坂の上の雲探訪…………… 97万円

教育・文化分野

■豊かな人間性を育む教育・ 文化・スポーツの振興

主な事業の紹介

☆は新規事業

- 〈総務理財関係〉……… 14億4,020万円
 - 野外活動センターの管理運営・振興……………1億9,149万円
 - 総合コミュニティセンター建物の改修……………1億7,143万円
 - 市民会館の改修……………1億2,186万円
 - ☆野外活動センター施設の災害復旧…………… 3,700万円
- 〈文教消防関係〉……… 51億6,565万円
 - 私立幼稚園就園奨励費の補助……………4億9,733万円
 - 奨学資金の貸付……………2億6,413万円
 - よりよい学校給食の推進……………2億5,454万円
 - 小・中学校教職員校務用コンピュータの整備……………1億2,965万円
 - 外国青年の招致……………1億336万円
 - ☆学校ICTの活用支援…………… 589万円
 - ☆文化財等ふるさと教材の活用支援…………… 555万円
 - ☆松山島博覧会「忽那諸島の歴史」の開催…………… 402万円

産業・経済

分野

魅力と活力あふれる産業・経済の振興

台湾などの国際観光客を誘致

NHKスペシャルドラマ「坂の上の雲」が台湾でも国際放送されたことから、松山への関心が高まる好機ととらえ、台湾にある同じ松山の地名を縁とした「松山—松山」間チャーター便の就航に向け旅行商品の開発に取り組むほか、県と連携し韓国・中国からの観光客の誘致促進を図ります。また国内のドラマロケ地でのPR活動や、ゆかりのある横須賀市と交流を深めます。

松山城ライトアップを改修

水銀灯使用による松山城のライトアップを耐久性の高いLED(発光ダイオード)照明などに改修し、電気代節約や二酸化炭素の削減を目指します。白色1色から、コンピュータ制御による多色の表現が可能となり、さまざまなイベントに利用して松山の新しい魅力の全国発信を図ります。



水銀灯によるライトアップがLED照明などに改修される松山城

かんきつ農家の品種転換を支援

認定農業者らが、温州みかん・伊予柑から、収益性の高い有望品種の紅まどんな・セトか・カラマンダリン・ライム・甘平・アボカド・ベにふうき茶・ブドウなどへ転換することを支援します。有望品種への転換に伴うハウスなどの施設整備費を補助し、高品質な果実を安定供給できる産地の早期確立によって生産農家の所得向上を図ります。



コンクリート舗装の上で天日干しされるヒジキ(津和地島)

ヒジキ加工施設整備で作業効率化を図る

漁獲量の減少や担い手不足、高齢化など漁業環境が厳しい中、乾燥ヒジキは国内産の需要が見込まれ、また高値安定していることから、架台式天日干し施設整備費を補助し、製品の品質向上と労働時間の短縮につなげ漁業従事者の所得向上を図ります。



有望品種への転換に伴う施設整備費を補助

都市基盤

分野

中核市にふさわしい都市基盤の整備

城山公園本丸の防災基本計画策定

城山公園丸之内地区の松山城本丸周辺には天守などの重要な文化財建造物や復興建造物があり、史跡としてまた観光施設として重要な区域であることから、これらを後世に引き継ぐため防災基本計画を策定します。

(仮称)土居田はなまる公園を整備

(仮称)土居田はなまる公園を、地域住民のコミュニティ・レクリエーション活動の場として、また災害時の一時避難地のための街区公園として整備



「市長へのわくわくメール」では、市民から寄せられたさまざまな意見・提言などに対し、行政の説明責任を果たすとともに、事務事業の改善に役立てています。わくわくメールの内容は市ホームページで公開しています。「市長とみんなのわくわくトーク」では、人が多く集まる場所で、市長と市民がテ

備します。地域住民とのワークシヨップなどを通して計画立案し、住民自らが考え、つくり、愛着を持って守り育てていく公園を目指します。

屋上緑化や屋外広告物撤去に補助

景観計画区域内の市役所前榎町通りと観光拠点である道後温泉本館周辺での屋上緑化推進や不適格屋外広告物撤去に対する補助を行い「まち」の魅力さらさら高め、住みやすさ訪れたいまちとして地域の活性化を目指します。

高速インターと結ぶ幹線道路整備

松山外環状道路などの幹線道路は、高速道路や一般国道を補完する道路として重要で

推進姿勢

あることから、国の公共事業関係の予算が減少する中、渋滞緩和だけでなく、産業、経済の発展にもつながる真に必要な道路として集中的に整備します。

みんなでつくるみんなの松山

市民参加型行政の推進

これまで行政が担ってきたサービスの中には、地域の自治組織が加わることによりよりよい展開が見込まれる分野もあることから、まちづくり協議会の設立支援を通して行政と市民との新たな協働の形を構築し、地域分権型社会の実現を目指します。

(仮称)三津浜地域交流センターを建設

老朽化が著しく、現在の耐震基準を満たしていない市厚生福祉センターを、バリアフリーに配慮するなど人にやさしい施設として児童クラブ室、三津浜支所を併設した(仮称)三津浜地域交流センターにリニューアル整備し、地域交流・子育て支援の拠点づくりを目指します。



今年の「市長とみんなのわくわくトーク」

マトークを行います。

産業・経済分野

魅力と活力あふれる産業・経済の振興

主な事業の紹介

☆は新規事業

- 〈総務理財関係〉……1億7,757万円
- 〈産業経済関係〉……40億6,393万円
- 中小企業資金貸付……12億5,015万円
- 港整備交付金(泊・陸月・元怒和漁港)……5億11万円
- 労働福祉団体貸付金……2億6,500万円
- 一般土地改良……2億1,054万円
- まつやま地域内発型経済の活性化推進……1億4,048万円
- 元怒和漁港海岸の高潮対策……1億1,998万円
- 漁村再生交付金(津和地漁港)……8,987万円
- 森林そ生緊急対策……8,050万円
- 水産基盤ストックマネジメント……5,001万円
- 林道の整備……4,889万円
- 観光客利用駐車場の対策……4,873万円
- まちかど案内の情報発信……3,612万円
- 観光ループバスの運行……3,129万円
- ☆中心市街地エリアマネジメント支援……2,749万円
- ☆松山城ライトアップ改修……2,700万円
- 観光まちづくり……2,078万円
- 民間連携による観光産業の活性化……1,968万円
- 源泉井戸および分湯場施設などの改修……1,690万円
- 中心商店街の創業者支援モデル……1,369万円
- ☆まつやま環境ビジネスセミナーなどの開催……1,294万円
- 中小企業の経営サポート……1,273万円
- 栽培漁業の推進……1,272万円
- 観光交流……942万円
- 松山城薪能……500万円
- 三津の朝市……437万円
- プロテイン・アイランド・松山国際シンポジウムの開催……360万円
- まつやま農林水産まつり……340万円
- 松山市商店街空洞化対策事業の補助金……230万円

都市基盤分野

中核市にふさわしい都市基盤の整備

主な事業の紹介

☆は新規事業

- 〈都市企業関係〉……47億4,798万円
- 安全歩行空間の整備……3億4,742万円
- 小野160号線の整備……3億5万円
- 空港周辺の環境整備……2億4,000万円
- 千舟町古川線の整備……2億1,190万円
- 公共交通利用促進の環境整備……1億1,902万円
- 地籍調査……1億749万円
- 土手内中西外線の整備……9,590万円
- 北久米和泉線の整備……5,890万円
- 二之丸庭園の整備……1,110万円
- 城山公園の整備……806万円
- ☆城山公園第一期整備完成の記念イベント……550万円
- ☆景観整備の支援……313万円
- ☆松山港の新規利用促進……100万円
- 松山城復興建造物などの調査・改修……73万円

推進姿勢

みんなでつくるみんなの松山

主な事業の紹介

☆は新規事業

- 〈総務理財関係〉……3億361万円
- 情報通信基盤の運用整備……1億835万円
- 電子入札制度の実施……4,632万円
- 電子市役所の推進……2,166万円
- 愛媛県地方税滞納整理の共同処理……1,600万円
- 〈市民福祉関係〉……5億4,675万円
- ☆収入印紙・県収入証紙購入費(パスポートセンター関連)……1億4,000万円
- 市民相談……921万円
- 市長とみんなのわくわくトーク……32万円
- 市長へのわくわくメール……25万円